

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 科目 年間授業計画

教 科： 国語 科 目： 現代文B 単位数： 2単位

対象学年組： 第3学年A組～H組

教科担当者： (A組：佐々木) (B組：石塚) (C組：佐々木) (D組：石塚) (E組：安藤) (F組：安藤) (G組：石塚) (H組：佐々木)

使用教科書： (『高等学校 改訂版 現代文B』第一学習社)

使用教材： (『カラー版 新国語便覧 新版四訂』第一学習社)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	言語が見せる世界	・文章の論理的展開を的確に把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解する。 ・日常的な価値意識にとらわれず、柔軟に思考することの大切さを理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	8
5月	言語が見せる世界	・文章の論理的展開を的確に把握し、一般的な常識とは異なる筆者の主張を理解する。 ・書き手の主張や意図を、書き手の思考の進め方に着目しながら理解することが出来る。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	8
6月	リスク社会とは何か	・文章全体の論理構成を把握し、筆者の主張を理解させる。 ・筆者の論の根幹をなす「身体」という概念を理解させる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	8
7月	リスク社会とは何か	・文章全体の論理構成を把握し、筆者の主張を理解させる。 ・筆者の論の根幹をなす「身体」という概念を理解させる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	4
8月				
9月	舞姫	・古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学ばせる。 ・様々な問題を抱えていた明治の日本の中の主人公の生き方を考え、国家と個人の関係、すなわち〈公〉と〈私〉の問題を考えさせる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	8
10月	舞姫	・古典的な名作を読み、登場人物の心情の揺れに密着して小説を読む方法を学ばせる。 ・様々な問題を抱えていた明治の日本の中の主人公の生き方を考え、国家と個人の関係、すなわち〈公〉と〈私〉の問題を考えさせる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	8
11月	「である」ことと「する」こと	・目に見えないはずの人間の内面を、語り手がどのように小説内に取り込んでいるか、その表現技法や効果について理解する。 ・過去の出来事を描いた小説の主題が、現代にも通じる普遍性を持ち得ていることに気づき、小説を読むことの意義を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	8
12月	「である」ことと「する」こと	・目に見えないはずの人間の内面を、語り手がどのように小説内に取り込んでいるか、その表現技法や効果について理解する。 ・過去の出来事を描いた小説の主題が、現代にも通じる普遍性を持ち得ていることに気づき、小説を読むことの意義を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	4
1月	大学問題演習	大学入試頻出問題を演習形式で学習する。	取り組み状況による	2
2月				
3月				

東京都立桜町高等学校 令和4年度 古典B(3年必修選択) 年間授業計画

教科：国語 科目：古典B 対象：第3学年 FGH組

単位数：(4単位)

教科担当者：(福島)

使用教科書：	精選古典B(大修館) LT古文3(浜島書店)
使用教材：	重要古文単語315 三訂版(桐原書店) 大学入試国語頻出1200(いっずな書店) 共通テスト+センター試験国語過去問(尚文出版)

指導内容 【年間授業計画】	古典Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月 ジャンル別演習 (古文—随筆) 『十訓抄』	1・2年次の復習 動詞・助動詞の活用ができる。 助動詞の使われ方が理解できる。 文中の重要単語の意味がわかる。 中古文学作品の特徴を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	16
5月 ジャンル別演習 (古文—歌論) 『無明抄』	助詞・助動詞の使われ方を理解し、本文を現代語訳できる。 文中の重要単語の意味がわかる。 入試に頻出の歌論について深く学び、入試読解力をつける。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	16
6月 ジャンル別演習 (古文—歌物語) 『大和物語』	助詞・助動詞の使われ方を理解し、本文を現代語訳できる。 文中の重要単語の意味がわかる。 歌物語の特徴を理解し、和歌の持つ役割を意識して本文を読解できる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	16
7月 ジャンル別演習 (古文—近世文学) 『源氏物語玉の小櫛』 『石上私淑言』	助詞・助動詞の使われ方を理解し、識別することができる。 文中の重要単語の意味がわかる。 近世文学の特徴を理解し、入試頻出の本居宣長の文章に慣れる。 文学史についても理解することができる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	8
8月			
9月 ジャンル別演習 (古文—日記) 『蜻蛉日記』 『紫式部日記』	助詞・助動詞の使われ方を理解し、識別することができる。 文中の重要単語の意味がわかる。 日記文学作品の特徴を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	16
10月 ジャンル別演習 (古文—歴史物語) 『大鏡』	助詞・助動詞の使われ方を理解し、識別することができる。 文中の重要単語の意味がわかる。 紀伝体の特徴を理解し、藤原家の政治とリンクさせて内容を理解できる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	16
11月 ジャンル別演習 (古文—長編物語) 『源氏物語』	助詞・助動詞の識別ができる。 文中の重要単語の意味がわかる。 敬語表現の判別をした上で読解することができる。 物語文学の特徴を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (小テスト・提出物・発言)	16
12月 総復習	正しく品詞分解、識別することができる。 敬語表現の使い方を理解し、正しく読解することができる。 重要句形を利用して正しく読解することができる。 主な文学作品の特徴を理解する。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	8
1月 入試問題演習	文章を読解し、問題にあった答えを導くことができる。 正しく品詞分解、識別することができる。 古文・漢文の文学作品についての知識を入試問題の中で利用することができる。	関心・意欲・態度 話す・聞く・書く・読む 知識・理解 (定期考査・小テスト・提出物・発言)	8

都立桜町高等学校 令和4年度 国語 国語総合(現代文演習) 年間授業計画

教科：国語 科目：国語総合（必修選択・自由選択 現代文演習） 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(①：石塚) (②：石塚) (③：石塚) (④：岩瀬) (⑤：佐々木) (⑥：佐々木)

使用教科書：(現代文)

使用教材：(現代文 論読評論文 国語頻出問題1200 入試過去問題プリント)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・評論の読解 ・語彙力の錬成	・評論の読解方法の習得・構成と読解 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度	8
5月	・評論の読解 ・語彙力の錬成 ・問題演習(評論)	・評論の読解方法の習得・キーワードのマーク ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度 ・定期テスト	8
6月	・評論の読解 ・語彙力の錬成 ・問題演習(評論)	・評論の読解方法の習得・選択肢の読み取り ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度	8
7月	・小説の読解 ・語彙力の錬成 ・問題演習(小説)	・小説の読解方法の習得・心理描写の読解 ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度 ・定期テスト	6
8月				
9月	・私大問題演習 ・語彙力の錬成	・私大入試問題評論文の読解方法の習得 ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度	6
10月	・私大問題演習 ・語彙力の錬成	・私大入試問題評論文の読解方法の習得 ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度 ・定期テスト	8
11月	・センター問題演習 ・語彙力の錬成	・センター問題長文の読解方法の習得 ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度	8
12月	・センター問題演習 ・語彙力の錬成	・センター問題長文の読解方法の習得 ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度 ・定期テスト	6
1月	・センター問題演習 ・語彙力の錬成	・センター問題長文の読解方法の習得 ・問題演習を通じた実践力の向上 ・補助教材を利用した語彙力の向上	・小テスト ・提出物 ・授業態度	8
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科：国語 科目：国語表現 年間授業計画

教科：国語 科目：国語表現 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組 選択者

教科担当者：(①②⑥佐々木) (③⑦奥野) (④⑧石塚) (⑤小杉)

使用教科書：国語表現（教育出版）

使用教材：改訂版国語表現の実践（京都書房）／小論文頻出テーマ解説集・チェック＆ワーク（第一学習社）／過去出題例プリントなど

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	・小論文の基礎（講義） ・語彙、文法事項、漢字のチェック ・時事用語	・作文、小論文の実作 ・語彙力、漢字力のチェック ・文法事項の確認 ・ニュースや時事問題についての知識を得る	・提出物 ・授業態度	6
5月	・小論文の基礎（講義） ・語彙、文法事項、漢字のチェック ・時事用語	・具体的な出題例に従って800字程度の小論文を書く ・語彙力、漢字力のチェック ・文法事項の確認 ・ニュースや時事問題についての知識を得る	・提出物 ・授業態度	8
6月	・小論文 基礎レベルの実作 ・語彙、文法事項、漢字のチェック ・ニュース、時事問題	・具体的な出題例に従って800字程度の小論文を書く ・語彙力、漢字力のチェック ・文法事項の確認 ・ニュースや時事問題についての知識を得る	・提出物 ・授業態度	8
7月	・小論文 基礎レベルの実作 ・語彙、文法事項、漢字のチェック ・ニュース、時事問題	・具体的な出題例に従って800字程度の小論文を書く ・語彙力、漢字力のチェック ・文法事項の確認 ・ニュースや時事問題についての知識を得る	・提出物 ・授業態度	4
8月				
9月	・小論文 個別課題による錬成 ・ニュース、時事問題 ・専門分野の知識	・志望分野ごとの出題例を用いて小論文を書く ・ニュースや時事問題についての知識を得る ・志望分野の専門知識を得る	・提出物 ・授業態度	8
10月	・小論文 個別課題による錬成 ・ニュース、時事問題 ・専門分野の知識	・志望分野ごとの出題例を用いて小論文を書く ・ニュースや時事問題についての知識を得る ・志望分野の専門知識を得る	・提出物 ・授業態度	8
11月	・小論文 個別課題による錬成 ・ニュース、時事問題 ・専門分野の知識	・志望分野ごとの出題例を用いて小論文を書く ・ニュースや時事問題についての知識を得る ・志望分野の専門知識を得る	・提出物 ・授業態度	8
12月	・小論文 個別課題による錬成 ・ニュース、時事問題 ・専門分野の知識	・志望分野ごとの出題例を用いて小論文を書く ・ニュースや時事問題についての知識を得る ・志望分野の専門知識を得る	・提出物 ・授業態度	4
1月	・小論文 個別課題による錬成 ・ニュース、時事問題 ・専門分野の知識	・志望分野ごとの出題例を用いて小論文を書く ・ニュースや時事問題についての知識を得る ・志望分野の専門知識を得る	・提出物 ・授業態度	4
2月				
3月				

桜町高校 令和4年度 数学Ⅲ(3学年必修選択) 年間授業計画

教科:(数学) 科目:(数学Ⅲ) 単位数:(6単位)

対象:(第3学年F組 必修選択)

教科担当者:(池浦, 藤藤)

使用教科書:(高等学校数学Ⅲ (数研出版))

使用教材:(4プロセス数学Ⅲ(数研出版), 剥ぎ取り式練習ドリル数学Ⅲ(数研出版)

1年間の計画を確認した後押印

教科	教務	副校長	校長

指導内容 【年間授業計画】	科目数学Ⅲの具体的な指導目標 (自校のスタンダード) 【年間授業計画】	評価の観点方法	予定時数	
4月	第1章 複素数平面 複素数平面	・複素数平面を考えることにより, 複素数の図形的側面が明らかになることを理解させる。 ・複素数の和, 差, 実数倍の, 複素数平面における図形的意味を理解させる。 ・共役複素数の性質を理解し, また, それらを証明問題に利用することができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	第1章 複素数平面 複素数の極形式	・極形式の定義を理解し, 複素数を極形式で表すことができるようにする。 ・ド・モアブルの定理を利用して, 複素数のn乗を計算することができるようにする。 ・複素数平面上の図形に現れる角や辺の長さの比が複素数を用いて考察できることを理解し, それを活用することができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	4
	第1章 複素数平面 ド・モアブルの定理 複素数と図形		知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第2章 2次曲線 放物線	・放物線・楕円・双曲線などの2次曲線の媒介変数表示で表された曲線などについて図形的特徴に注意し, 学習する。	知・技・見 問題集やプリント課題	1
5月	第2章 2次曲線 楕円, 双曲線、	・放物線, 楕円, 双曲線の方程式から, 概形をかき, 焦点, 準線などを求めることができるようにする。 ・軌跡の考えを利用して, 放物線, 楕円, 双曲線の方程式を導くことができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	第2章 2次曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 曲線の媒介変数表示		知・技・見 問題集やプリント課題	3
	第2章 2次曲線 曲線の媒介変数表示 極座標と極方程式	・極方程式で表された曲線などについて図形的特徴に注意し, 学習する。 ・円や直線を極方程式で表すことができる。また, 極方程式で表された曲線を図示することができる。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第3章 関数 分数関数, 無理関数, 逆関数, 合成関数	・簡単な分数関数と無理関数及びそれらのグラフの特徴について理解させる。 ・合成関数や逆関数の意味を理解し, 簡単な場合についてそれ	知・技・見	6

	数	らを求めることができるようにする。	問題集やプリント課題	6
6月	第4章 極限 数列の極限	<ul style="list-style-type: none"> ・極限に関する表記および∞の記号について理解し、極限値を求めることができるようにする。 ・「はさみうちの原理」を用いて極限を求めることができるようにする。 ・無限等比数列の収束・発散を利用して、様々な数列の極限を求めることができるようにする。 	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第4章 極限 数列の極限		知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第4章 極限 関数の極限	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な関数の$x \rightarrow a$のときの極限を求めることができるようにする。 ・グラフを参考にしながら、関数の右側極限、左側極限、関数の極限の有無について考察することができるようにする。 ・三角関数を含む様々な関数の極限値を求めることができるようにする。 	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第4章 極限 関数の極限		知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第5章 微分法 微分係数と導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・微分係数、微分可能の定義と、その図形的意味を理解させる。 ・導関数の定義を理解し、定義に基づいて微分することができるようにする。 	知・技・見 問題集やプリント課題	6
7月				
	第5章 微分法 導関数の計算、いろいろな関数の導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・導関数の性質、積の導関数、商の導関数、合成関数の微分法、逆関数の微分法を理解し、種々の導関数の計算に利用することができる。 	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	第5章 微分法 いろいろな関数の導関数、 n 次導関数	<ul style="list-style-type: none"> ・三角関数の導関数を理解し、三角関数を含む種々の関数の導関数を計算できるようにする。 ・自然対数eの定義と、対数関数の導関数を理解し、その導関数を計算できるようにする。 	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	第6章 微分法の応用 接線の方程式、平均値の定理	<ul style="list-style-type: none"> ・種々の接線、法線の方程式を求めることができる。 ・平均値の定理を利用して、不等式を証明する方法を理解させる。 	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第6章 微分法の応用 関数の値の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・関数の極大値・極小値や最大値・最小値を調べる際に、増減表をかいて考察している。 ・導関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができる。 	知・技・見	6

9月		等関数を利用して、関数の最大値・最小値を求めることができるようにする。	問題集やプリント課題	0
	第6章 微分法への応用 関数のグラフ	・関数の増減、グラフの凹凸、変曲点、漸近線、定義域、 $x \rightarrow \pm\infty$ のときの状態などを調べてグラフをかくことができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第6章 微分法への応用 関数のグラフ	・導関数、第2次導関数を利用して、関数のグラフをかくことができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	第6章 微分法への応用 方程式・不等式への応用	・方程式 $f(x)=a$ の実数解の個数を、関数 $y=f(x)$ のグラフと直線 $y=a$ の共有点の個数に読み替えて考察できるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	3
10月	第7章 積分法とその応用 不定積分	・微分法の逆演算として、不定積分を計算することができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第7章 積分法とその応用 部分積分法、置換積分法	・被積分関数の形の特徴から、置換積分法や部分積分法を利用して、不定積分を求めることができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第7章 積分法とその応用 いろいろな関数の不定積分	・様々な工夫によって被積分関数を変形することで、不定積分を求めることができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第7章 積分法とその応用 定積分とその性質	・定積分の定義や性質を理解し、それを利用して種々の関数の定積分を計算できるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
11月	第7章 積分法とその応用 部分積分法、置換積分法	・定積分の置換積分法では、積分区間の変換に注意して定積分を計算する。 ・定積分の置換積分法、部分積分法を理解し、複雑な関数の定積分を計算できるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第7章 積分法とその応用 定積分のいろいろな問題	・曲線で囲まれた部分の面積を微小な長方形で近似する考え方で、定積分と和の極限との関係を考察させる。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第7章 積分法とその応用 面積	・直線や曲線で囲まれた部分の面積を、定積分で表して求めることができるようにする。	知・技・見 問題集やプリント課題	6
	第7章 積分法とその応用 体積	・立体の断面積を積分することで、体積を求めることができるようにする。 ・ x 軸や y 軸を軸とする回転体の断面積は円となることを理解し、回転体の体積を求める。	知・技・見	6

		四角形の面積は1/2となることを理解し、四角形の面積を求めることができる。	問題集やプリント課題	5
	第7章 積分法とその応用 道のり、曲線の長さ	<ul style="list-style-type: none"> ・数直線上を運動する点の座標、道のりを定積分を用いて求めることができる。 ・定積分を用いて、曲線の長さを求めることができるようにする。 	知・技・見 問題集やプリント課題	6
12月				
	微分・積分の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うことでさらに理解を深める。 	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	微分・積分の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うことでさらに理解を深める。 	知・技・見 問題集やプリント課題	3
	微分・積分の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うことでさらに理解を深める。 	知・技・見 問題集やプリント課題	3
1月				
	微分・積分の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うことでさらに理解を深める。 	知・技・見 問題集やプリント課題	4
	微分・積分の総復習	<ul style="list-style-type: none"> ・演習を行うことでさらに理解を深める。 	知・技・見 問題集やプリント課題	6

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 数学 科目 数学 I 年間授業計画

教科 科 目 : 数学 I 単位数 : 4 単位

対象学年組 : (第3学年 B, D, E組)

教科担当者 : (B, D, E組必修選択 齋藤 : ㊟ 池浦 : ㊟)

使用教材 : (数研出版「35日完成!大学入学共通テスト対策」)

	指導内容	科目 数学 I の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数 I データの分析、発展問題演習	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	6
5月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数学A図形の性質 整数の性質 復習	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	4
6月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数 I 数と式の応用例題の演習	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	8
7月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数 I 2次関数の応用例題の演習	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	4
8月				
9月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数 I 図形と計量の応用例題の演習 データの分析の応用例題の演習	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	4
10月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数A場合の数と確率の応用例題の演習	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	8
11月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数A図形の性質の応用例題の演習	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	8
12月	テキスト「35日完成!大学入学共通テスト対策」	数A 整数の性質の応用例題の演習	関・見・技・知 授業態度・テスト・課題提出	4
1月	大学入試過去問題から	看護系・医療系大学の入試問題の演習と解説	関・見・技・知 授業態度・小テスト・課題提出	2
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科外国語 科目コミュニケーション英語Ⅱ(上級英語) 年間授業計画

外国語 科 目: 上級英語(自選) 単位数: 2単位

対象学年組: (第3学年A組~H組)

教科担当者: (A組~H組: 長藤)

使用教科書: (LANDMARK Fit English CommunicationⅡ)

使用教材: (CROSSBEAM 総合問題集 S2 Standard2, Take Up English Reading, Listening Laboratory Advanced, Reading Gym 入試編)

	指導内容	科目 中級英語の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	CROSS BEAM Unit 1,2,3	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	4
5月	CROSS BEAM Unit 4,5,6	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4
6月	CROSS BEAM Unit 7,8,9	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	8
7月	CROSS BEAM Unit 10,11,12	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	6
8月		本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる		
9月	CROSS BEAM Unit 13,14,15	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	8
10月	Take Up English Reading	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
11月	Take Up English Reading	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	8
12月	Take Up English Reading	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	6
1月	Take Up English Reading	本文中に出てくる重要語句、文法、構文、表現を理解させる Key Sentenceの日本語訳ができる 内容理解し、本文の英語要約ができる	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	2
2月				
3月				

年間授業計画様式例

都立桜町高等学校 令和4年度 教科外国語 科目コミュニケーション英語Ⅱ(中級英語) 年間授業計画

外国語 科 目: 中級英語(必選) 単位数: 2単位

対象学年組: (第3学年A組~H組)

教科担当者: (A組~H組: 堀米)

使用教科書: (LANDMARK Fit English CommunicationⅡ)

使用教材: (英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編)

	指導内容	科目 中級英語の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	4
5月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4
6月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	8
7月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	6
8月				
9月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	8
10月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
11月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	8
12月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	6
1月	英語総合問題集 UNITE STAGE4、共通テスト10分リスニングプレノート、Reading Gym 発展編	試験形式で、長文を読み、内容把握できるようにする。評論文の読み方のポイントを理解し、単語・熟語・文法・リスニングを定着させる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	2
2月				
3月				

年間授業計画様式例

都立桜町高等学校 令和4年度 教科：外国語・英語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 年間授業計画

教科：外国語・英語 科目：コミュニケーション英語Ⅲ 単位数：3単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：(A組：伊東 B組：伊東 C組：長藤 D組：堀米 E組：田口 F組：長藤 G組：伊東 H組：田口)

使用教科書：(Landmark Fit English Communication Ⅲ)

使用教材：(Landmark Fit Workbook, DataBase4500, Listening Laboratory Standardβ, READING POWER basic, Jet Reading level3, SKYWARD RAINBOW)

	指導内容	コミュニケーション英語Ⅲの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson 1 Emperor Penguins	<ul style="list-style-type: none"> ・コウテイペンギンについて書かれた文章の内容を理解する ・コウテイペンギンに関する会話を聞く。 ・コウテイペンギンの特徴について書く。 ・コウテイペンギンの特徴について会話する。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	9
5月	Lesson 2 Caffeine	<ul style="list-style-type: none"> ・カフェインについて書かれた文章の内容を理解する。 ・カフェインの摂取に関する会話を聞く。 ・カフェインの摂取について書く。 ・カフェインの摂取について会話する。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	9
6月	Lesson 3 Blood Is Blood Lesson 4 Biomimetics	<ul style="list-style-type: none"> ・献血をめぐる当時の黒人差別の実態を理解する。 ・献血に関する会話を聞く。 ・献血に対する意見を書く。 ・献血に関する意見交換をする。 ・バイオミメティクスとは何か理解する。 ・バイオミメティクスの事例に関する会話を聞く。 ・バイオミメティクスの事例について書く。 ・バイオミメティクスの事例について会話する。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	12
7月	Lesson 5 Communication without Words	<ul style="list-style-type: none"> ・ボディ・ランゲージについて書かれた文章の内容を理解する。 ・コミュニケーションにおける目の役割について聞く。 ・会話中の視線のやり方について書く。 ・会話中の視線のやり方について意見交換する。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4
8月				
9月	Lesson 6 Christmas Truce	<ul style="list-style-type: none"> ・第一次世界大戦下の英・独の戦闘の様子を理解する。 ・奇跡のような経験に関する会話を聞く。 ・奇跡のような経験について書く。 ・奇跡のような経験について会話する。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	5
10月	Lesson 7 Political Correctness Lesson 8 Global Water Crisis	<ul style="list-style-type: none"> ・差別や偏見のない用語の使用が推奨されていることを理解する。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を聞く。 ・ポリティカル・コレクトネスについての意見を書く。 ・ポリティカル・コレクトネスについて意見交換する。 ・世界的な水不足が起きていることを理解する。 ・節水に関する会話を聞く。 ・水を守るために何ができるか意見を書く。 ・水を守るために何ができるか意見交換をする。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
11月	Lesson 9 Animal Math Lesson 10 The Poorest President in the World	<ul style="list-style-type: none"> ・動物には生来、数学的な能力が備わっていることを理解する。 ・動物の能力に関する会話を聞く。 ・動物の能力に関して書く。 ・動物の能力に関して会話する。 ・ウルグアイの元大統領ムヒカが述べた貧しさの定義や、彼が考える発展と幸福の関わり、また消費社会の実態とそれに関する考えを理解する。 ・ムヒカの考えに関する会話を聞く。 ・ムヒカの考えに対して意見を書く。 ・ムヒカの考えに関して意見交換をする。 	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	12
12月	共通テスト演習	共通テスト入試の形式に慣れる。	授業での活動、態度・課題提出	4
1月	共通テスト演習	共通テスト入試の形式に慣れる。	授業での活動、態度・課題提出	3
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科：外国語・英語 科目：英語表現Ⅱ 年間授業計画

教科：外国語・英語 科目：英語表現Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年 A組～H組

教科担当者：A組（田口）B組（長藤）C組（伊東）D組（田口）E組（伊東）F組（田口）G組（長藤）H組（長藤）

使用教科書：（Revised BIG DIPPPER English Expression II）

使用教材：（BIG DIPPPER English ExpressionⅡワークブック，Next Stage 英文法・語法問題 4th Edition，Next Stage 4th edition Best Trainer）

	指導内容	英語表現Ⅱの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	Lesson 1 現在時制・過去時制 Lesson 2 未来時制	各時制を用いた英語表現に習熟する。問題演習を行い、多くの表現の違いを理解し、自ら簡単な英文を書く。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	6
5月	Lesson 3 現在完了時制 Lesson 4 過去完了・未来完了時制	各時制を用いた英語表現に習熟する。問題演習を行い、多くの表現の違いを理解し、自ら簡単な英文を書く。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	5
6月	Lesson5 助動詞 Lesson6 SVOC, _SV00	used to, wouldや（助動詞+have+過去分詞）の形を使うことができる。S+V+O+O[C]の文型や、動詞の後の前置詞の有無を理解して、文を作ることができる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
7月	Lesson7 be+過去分詞 Lesson8 疑問詞to不定詞	（be動詞+過去分詞）（受け身）のさまざまな形を用いて、文を作ることができる。名詞・形容詞・副詞のように働くto-不定詞や、（疑問詞+to-不定詞）を使うことができる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	3
8月	（夏季休業）			
9月	Lesson9 不定詞の意味上の主語、原形不定詞 Lesson10 完了形の不定詞、to-不定詞の慣用表現	〈for / of A+to-不定詞〉や〈SVO+不定詞〉を用いて、文を作ることができる。不定詞を用いて「…が～すること」「…に～するよう勧める／～させる」などを表現できる。完了形の不定詞や、to-不定詞の慣用表現を使うことができる。to-不定詞を用いて「～だったと言われている」「～するほど…」などを表現できる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4
10月	Lesson11 動名詞 Lesson12 SV+分詞/SVO+分詞、分詞構文 Lesson13 原級、比較級を使った表現 Lesson14 最上級を使った表現	動名詞の基本的な形を理解し、動名詞を含む慣用表現を使うことができる。分詞を用いて、「～しているのを…する」「～しながら」などを表現できる。原級・比較級を用いた、さまざまな比較構文を使うことができる。「最も～」「何番めに～」「ほかのどんな…よりも～」などを英語で表現できる。最上級や、最上級の内容を表す原級・比較級の構文を使うことができる。「できるだけ～」「X倍の～」「ますます～」などの比較を表す内容を英語で表現できる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
11月	Lesson15 関係代名詞 Lesson16 関係代名詞、関係副詞 Lesson17 複合関係代名詞、複合関係副詞	関係代名詞の限定用法・継続用法を理解して、それを用いた文を作ることができる。「～する人/物」や、「人/物」についての補足説明を関係代名詞を用いて表現できる。関係代名詞what、関係副詞の用法を理解して、それを用いた文を作ることができる。「～するものは何でも」「～するときはいつでも」などを英語で表現できる。複合関係代名詞(whateverなど)・複合関係副詞(wheneverなど)を使うことができる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	8
12月	Lesson18 仮定法過去 Lesson19 I wish~/ as if～ Lesson20 時制の一致/間接話法	仮定法過去[過去完了]の用法を理解して、それを用いた文を作ることができる。「もし～ならば[だったら]、…する[した]だろう」と事実と異なる仮定を英語で表現できる。(wish+仮定法) (as if+仮定法) など、仮定法のさまざまな構文を用いることができる。「～であると気づいた」「～であるかどうか尋ねた」などを英語で表現できる。時制の一致や間接話法の用法を理解して、それを用いた文を作ることができる。「～ならいいのに」「まるで～のように」「万一～ならば」などを英語で表現できる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト・定期考査	4
1月	Lesson21 部分否定と全文否定、強調・倒置 Lesson22 無生物主語、名詞構文	部分否定・強調・倒置の文を作ることができる。「すべてが～というわけではない」や「…なのは～だ」などを英語で表現できる。無生物主語の構文、名詞構文を使うことができる。「物・事」を主語にしたり、名詞を使って動詞の意味を表したりする、英語らしい表現ができる。	授業での活動、態度・課題提出・小テスト	4
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 年間授業計画

教科・科目(単位数)	外国語・中国語(2単位)
対象年次	2, 3年次
使用教科書	じっくり学び中国語(金星堂)
使用副教材	自主作成プリント
科目担当	泉田俊英

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
1 学 期	4 月	・中国語の概説 ・行政区画、政治体制、少数民族、漢民族	・中国語と中国の概要(行政区画、政治体制、少数民族、漢民族)について理解する。	【評価の観点】 (1)知識及び技能 中国語の4技能(聞く、読む、話す、書く)について、実際のコミュニケーションにおいて活用できる知識・技能を身に付けている。 中国語の学習を通じて、言語の働きや役割などを理解する (2)思考力、判断力、表現力 簡単なあいさつ、語句、表現を使って、自分のことや身の回りのことなどについて質問したり答えたりするなどして表現している。 中国語の表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力 (3)学びに向かう力、人間性 言語やその背景にある文化に対する関心を持って、主体的に中国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。	4
		・発音記号(ピンイン)のきまり	・子音、母音、四声、軽声、r化、声調変化など中国語の発音を理解する ・声調の重要性について理解する。		
		・中国語での教室用語 ・名前の言い方	・自分の名前を中国語で正しく発音する。		
1 学 期	5 月	・人称代名詞	・人称代名詞を理解する。	10	
		・動詞述語文	・動詞述語文の仕組みを理解する。		
		・“是”を使った文	・“是”の肯定文、否定文、疑問文のきまりを理解する。		
		・疑問の助詞	・“吗”を使った疑問文の用法を理解する。		
		定期考査 I			
1 学 期	6 月	・疑問詞疑問文	・疑問詞“哪”の用法を理解する。	6	
		・副詞	・副詞“都”“也”の用法を理解する。		
		・曜日の表現	・名詞述語文、数詞、曜日に関する表現、疑問詞“几”のきまりを理解する。		
		・年月日の表現	・年月日の言い方を理解する。		
1 学 期	7 月	1学期の復習	・定期考査に向けて総復習を行う。	4	
		定期考査 II	・会話、リスニング、筆記試験を実施する。		
2 学 期	9 月	・時間の表現	・時間の言い方を理解する。	【評価の方法】 (1)知識及び技能 定期テスト・小テスト・提出物・取組及び日ごろの授業での活動と共に、総括的に評価する。 (2)思考力、判断力、表現力 日ごろの授業での活動と共	8
		・時点について	・動作を行う時点のきまりについて理解する。		
		・年齢の表現	・年齢、学年、干支の言い方を理解する。		
		・買い物物の表現	・量詞、買い物物の時に使う表現を理解する。		

		指導内容 【年間授業計画】	具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数		
2 学期	1 0 月	・ 助動詞1	・ 助動詞“想”“要”の用法を理解する。	に、総括的に評価する。 (3)学びに向かう力、人間性 定期テスト・小テスト・提出物及び日ごろの授業での活動を中心に評価する。	10		
		・ 連動文	・ 連動文のきまりを理解する。				
		・ 動詞“有”1	・ 動詞“有”の所有の用法を理解する。				
		・ 助詞“的”	・ “的”の用法を理解する。				
		定期考査Ⅲ					
2 学期	1 1 月	・ 親族に関する表現	・ 親族に関する名称と家族構成の言い方を理解する。		に、総括的に評価する。 (3)学びに向かう力、人間性 定期テスト・小テスト・提出物及び日ごろの授業での活動を中心に評価する。	8	
		・ 動詞・前置詞“在”	・ “在”の動詞・前置詞・副詞としての用法を理解する。				
		・ 動詞“有”2	・ 動詞“有”の存在の用法を理解する。				
		・ 趣味の言い方	・ 趣味の言い方を理解する。				
2 学期	1 2 月	・ 2学期の復習	・ 1学期の内容も含めて復習を行う。	に、総括的に評価する。 (3)学びに向かう力、人間性 定期テスト・小テスト・提出物及び日ごろの授業での活動を中心に評価する。		6	
		・ 定期考査Ⅳ	・ 会話、筆記試験を実施する。				
3 学期	1 月	・ 助動詞2	・ 助動詞“会”の用法を理解する。			【評価の方法】 1) 小テスト 2) 「話してみよう中国語」のスキットの発表 3) 授業への取り組み 上記1) 2) 3)を総合的に評価する	6
		・ 形容詞述語文	・ 形容詞述語文のきまりを理解する。				
		・ 助動詞3	・ 助動詞“能”の用法を理解する。				
		・ 助動詞4	・ 助動詞“可以”の用法を理解する。				
3 学期	2 月	・ 完了の表現	・ 完了・変化の助詞“了”の用法を理解する。		【評価の方法】 1) 小テスト 2) 「話してみよう中国語」のスキットの発表 3) 授業への取り組み 上記1) 2) 3)を総合的に評価する		4
		・ 経験の表現	・ 経験を表す“过”の用法を理解する。				
		・ 前置詞	・ 前置詞“跟”の用法を理解する。				
3 学期	3 月	・ 総復習	・ 1年間の復習を行う。	【評価の方法】 1) 小テスト 2) 「話してみよう中国語」のスキットの発表 3) 授業への取り組み 上記1) 2) 3)を総合的に評価する			4
		・ 定期考査Ⅴ	・ 会話、筆記試験を実施する。				
						計	70

年間授業計画

教科:(公民)科目:(現代社会) 対象:(第3学年A組~H組) 単位数: 2単位

教科担当者:(A~G組:町田 紳 H組:柴田 昌夫)

使用教科書: 高等学校 改訂版 現代社会 (第一学習社)

使用教材 : フォーラム現代社会2021 (とうほう)

	指導内容 【年間授業計画】	現代社会の具体的な指導目標 【年間授業計画】	使用教材・教具	予定時数	授業において把握した目標到達度
					① 調査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度 ② 指導内容の6~7割の理解度 ③ ④
4月2週 ↓ 5月2週	政治機構と政治の運営 ・国会 ・選挙制度、等	<ul style="list-style-type: none"> 日本の政治制度について、議会制民主主義の考え方とともに、三権それぞれの働きについて理解し、三権が相互に抑制・均衡の関係にあることを知る。 国民主権が民主政治の根幹であることを知り、現在の我が国の選挙制度の仕組みについて理解し、国政選挙における衆参両院の相違点を知る。 	教科書、資料集	10	① 調査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度 ② 指導内容の6~7割の理解度 ③ ④
5月3週 ↓ 7月3週	日本国憲法の基本的性格 ・日本国憲法の成立過程	<ul style="list-style-type: none"> 明治維新から終戦の歴史が日本国憲法の内容に大きな影響を与えていることを踏まえて、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」のいわゆる三大基本原理につながっていくことを理解させる。 	教科書、資料集	18	① 調査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度 ② 指導内容の6~7割の理解度 ③ ④
9月1週 ↓ 10月2週	日本国憲法の基本的性格 ・日本国憲法の三大原則 ・日本国憲法の改正手続	<ul style="list-style-type: none"> 日本国憲法の成立過程が憲法の内容に大きな影響を与えていることを踏まえて、「基本的人権の尊重」「国民主権」「平和主義」のいわゆる三大基本原理の概略を理解させる。 憲法改正の手続きを確認し、その論点を整理する。 	教科書、資料集	12	① 調査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度 ② 指導内容の6~7割の理解度 ③ ④
10月2週 ↓ 12月3週	労働法制と現代の労働問題 ・労働基本権の保障 ・現代日本の労働環境	<ul style="list-style-type: none"> 勤労権、労働三権、労働三法について理解し、その目指す方向性を把握する 我が国において戦後構築されてきた終身雇用制や年功序列制などの仕組みを理解し、これらの制度が近年崩れてきた要因について説明できる。また、最近の雇用問題に関して理解を深める。 	教科書、資料集	12	① 調査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度 ② 指導内容の6~7割の理解度 ③ ④
1月2週 ↓ 1月3週	現代日本の諸課題 ・少子高齢化	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化に伴う様々な問題点を指摘し、それに対する解決方法を模索する。 	教科書、資料集	4	① 調査等の結果や学力調査結果から把握した目標到達度 ② 指導内容の6~7割の理解度 ③ ④

都立桜町高等学校 2022年度 地歴科 世界史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：世界史B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年 ED組・FG組

教科担当者：ED組・FG組 磯崎

使用教科書：(山川出版社「詳説世界史B」)

使用教材：(浜島書店「世界史詳覧 ニューステージ」)

	指導内容 【年間授業計画】	世界史Bの具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定 時数
4月	西アジアの地理的特質とオリエン特文明 イラン人の活動	・メソポタミアにおける諸民族の興亡、エジプトの統一国家の形成、東地中海の諸民族の活動を理解するとともに、オリエン特文明の特徴を把握する。	定期考査 授業態度	8
		・オリエン特世界がアケメネス朝によって統一されるまでの歴史的経緯を理解する。	定期考査 授業態度	4
5月	地中海世界の地理的特質とギリシア・ローマ文明	<ul style="list-style-type: none"> ・地中海一帯の土壌と農業の特徴から、地中海の交易が発達した理由を理解する。 ・エーゲ文明の特徴、ポリスの形成過程、ポリス社会の特徴を理解する。 ・アテネにおける民主政の成立過程を、ペルシア戦争を含めて理解するとともに、ポリス社会の衰退の過程を理解する。 ・ローマ帝国の興亡の歴史的過程を政治制度の推移や征服活動などから理解する。 ・ポリスの変容からヘレニズム世界の形成までの歴史的過程を理解する。 	定期考査 授業態度	10
6月	地中海世界の地理的特質とギリシア・ローマ文明	<ul style="list-style-type: none"> ・ローマ帝国の興亡の歴史的過程を政治制度の推移や征服活動などから理解する。 ・キリスト教の迫害から国教化に至る過程を皇帝崇拝との関係から理解する。 	定期考査 授業態度	8
7月	西ヨーロッパの封建社会の成立と変動	<ul style="list-style-type: none"> ・ゲルマン人の大移動後にフランク王国が強大化し、ローマ=カトリック教会と提携することで、西ヨーロッパ世界の中心勢力となったことを理解する。 ・封建社会における荘園の構造と封建的主従関係による階層組織を理解する。 ・ユスティニアヌス帝時代のビザンツ帝国の繁栄と、ユスティニアヌス帝死後のビザンツ帝国の衰退の過程を理解する。 	定期考査 授業態度	8
7月	西ヨーロッパの封建社会の成立と変動	<ul style="list-style-type: none"> ・十字軍の活動をはじめとする11世紀以降の西ヨーロッパ世界の拡大、中世都市の特徴、封建社会の変容について理解する。 ・教皇権の衰退の過程と各国における国王権の伸長について理解する。 	定期考査 授業態度	4
9月	帝国主義諸国の抗争とアジア・アフリカの対応 第一次世界大戦	・欧米各国の帝国主義政策と国内政策を理解するとともに、欧米諸国間の世界分割競争の経緯と結果を理解する。	定期考査 授業態度	4
		・第一次世界大戦中の戦時外交、総力戦における統制経済について理解する。	定期考査 授業態度	4
9月	ロシア革命とソヴィエト連邦の成立	・対ソ干渉戦争とソヴィエト政権の経済政策について理解する。	定期考査 授業態度	4
10月	大衆社会の出現とファシズム 第一次世界大戦後のアジア・アフリカの情勢	<ul style="list-style-type: none"> ・ヴェルサイユ・ワシントン体制下で進んだ国際協調の流れを理解する。 ・1920年代のアメリカ合衆国の「永遠の繁栄」と呼ばれた政治・経済の成熟を理解する。 ・イタリアでムッソリーニが一党独裁体制を確立していった過程を理解する。 ・ソヴィエト連邦でスターリンが一国社会主義論を唱え、独裁権を握っていった過程を理解する。 	定期考査 授業態度	8
		・中国における国民党と共産党の対立、インドにおける国民会議派と全インド=ムスリム連盟の対立について理解する。	定期考査 授業態度	8
11月	世界恐慌とその後の世界情勢 第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> ・世界恐慌による各国の経済的な打撃を具体的な指標から理解するとともに、アメリカ合衆国のニューディール政策の進展について理解する。 ・満州事変から日中戦争に至る過程やナチス=ドイツが独裁権を確立していった過程を理解する。 ・スターリンの独裁体制が確立していった時期のソヴィエト連邦の外交政策について理解する。 	定期考査 授業態度	8
		<ul style="list-style-type: none"> ・スペイン内戦から第二次世界大戦勃発前までのヨーロッパの国際情勢について理解する。 ・ヨーロッパにおけるドイツの、アジア・太平洋地域における日本の勢力拡大を地図上で理解する。 	定期考査 授業態度	8
12月	米ソ両陣営による冷戦の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・国際連合の主要機関の役割とともに、国際的な経済・金融の協力体制の形成について理解する。 ・戦後の東・西ヨーロッパの情勢とトルーマン=ドクトリンやマーシャル=プランが出された経緯を理解する。 ・ドイツの東西分断、中華人民共和国の成立、ヴェトナムの情勢、朝鮮戦争などから冷戦体制が世界化していく過程を理解する。 	定期考査 授業態度	4
	戦後の復興と経済発展	<ul style="list-style-type: none"> ・西ヨーロッパ統合の流れを理解する。 ・日本が朝鮮特需で経済復興を果たし、ソ連との国交回復と国際連合加盟で国際社会への復帰を果たした過程を理解する。 	定期考査 授業態度	4
	アジア・アフリカ諸国の独立とその後の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・東南アジア・南アジア・西アジア諸国の独立の過程とアフリカ諸国の独立が進み、1960年が「アフリカの年」と呼ばれたことを理解する。 ・平和五原則の提唱、アジア=アフリカ会議や非同盟諸国首脳会議の開催がもつ歴史的意義を理解する。 	定期考査 授業態度	2
	平和共存の模索	・キューバ危機を契機に米ソの緊張緩和の方向が現れ、核兵器の拡大を制限する交渉が始まったことを理解する。	定期考査 授業態度	2
1月	米ソ両陣営による冷戦の展開	<ul style="list-style-type: none"> ・アメリカ合衆国の貿易収支が赤字になった背景を理解する。 ・第四次中東戦争の勃発と第一次石油危機の発生を理解する。 ・先進工業国で、省エネ対策、代替エネルギーの開発、先進技術開発が進む中で、貿易摩擦が激化したことを理解する。 	定期考査 授業態度	4
	冷戦の終結とソヴィエト連邦の解体	<ul style="list-style-type: none"> ・ソヴィエト連邦のベレストロイカが東欧諸国の民主化に与えた影響を理解する。 ・東欧諸国の民主化、冷戦の終結、ソヴィエト連邦の解体の一連の歴史的過程を理解する。 	定期考査 授業態度	4

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 地理歴史 科目 地理B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：地理B 単位数：4単位

対象学年組：第3学年 B組・D組 21名

教科担当者：(B・D組：佐々木)

使用教科書：新詳地理B(帝国書院) 新詳高等地図(帝国書院)

使用教材：新詳地理資料COMPLETE 2022(帝国書院)

	指導内容	科目 地理A の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	1章 地理情報と地図 1節 地図の発達 1 現代世界の地図 2節 地図の種類とその利用 1 地球上の位置 2 時差の求め方	現代世界の地図について、どのような技術を利用してつくられているかをとらえ、地図の有用性に気づくとともに、時代背景や地図の中心の違いなどによって世界観が変化することについて考察する。 球体としての地球の特徴をとらえ、緯度・経度の違いによって時差や気候に違いが生じるメカニズムを考察する。さらに、球体を平面に表現した地図の種類とその利用についても考察し、現代世界の地理的事象をとらえる地理的技能を身につける。	○現代世界の地図について、さまざまな技術を利用してつくられた地図の読図や比較、地理情報の地図化などの活動を通して、現代世界の地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	8
5月	2章 地図の活用と地域調査 1節 地図の活用 2節 身近な地域の調査 1 調査テーマの設定 2 課題の調査 3 調査結果のまとめと発表	地図の活用と地域調査について、直接的に調査できる地域を地形図などの地図を活用して多面的・多角的に調査し、生活圏の地域的特色をとらえる地理的技能を身につける。	○地図の活用と地域調査について、地形図の読図や資料収集などを意欲的に行い、地域調査に対する関心と課題意識を高めている。	12
6月	4節 環境問題 1 世界の環境問題 2 さまざまな環境問題 3 日本の環境問題	世界の環境問題について、その背景や原因、影響、対策を多面的に考察する。また、日本国内の環境問題について発生した背景や問題解決への取り組みを考察する。	○世界と日本の環境問題の原因、影響、対策に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	15
7月	2章 資源と産業 1節 世界の農林水産業 1 農業の発達と分布 2 農業の地域区分 3 現代世界の農業の現状と課題 4 世界の林業・水産業 5 日本の農林水産業	世界の農林水産業について、自然条件や社会条件と関連づけて農業の地域区分をとらえるとともに、現代世界の農林水産業の現状と課題を考察する。また、世界のなかでの日本の農林水産業の課題を考察する。	○世界の農林水産業について、現代世界と日本の農林水産業に対する関心と課題意識を高め、農業の成立条件などを踏まえてそれらを意欲的に追究し、とらえようとしている。	6
8月				
9月	5節 世界の工業 1 工業の発達と種類 2 工業の立地とその変化 3 世界の工業地域 4 現代世界の工業の現状と課題 5 日本の工業	世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題を考察する。また、日本の工業の特徴と課題を考察する。	○世界の工業について、工業の発達過程や種類、立地とその変化、現状と課題などに関する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	11
10月	6節 第3次産業 1 第3次産業の発展 2 多様化する観光産業 3 日本の観光産業	第3次産業について、その特徴や発展の背景、地域差などをとらえるとともに、世界と日本の観光業の特徴を考察する。	○第3次産業について、近年の動向や地域差に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	13
11月	2節 人口問題 1 世界の人口問題 2 発展途上国の人口問題 3 先進国の人口問題 4 日本の人口問題	世界の人口について、その分布の特徴や動態、人口構成や人口転換を考察する。	○発展途上国と先進国のそれぞれについて、人口問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	13
12月	4章 生活文化、民族・宗教 1節 世界の衣食住 1 世界の衣食住の地域的差異 2 衣食住の世界的な画一化 3 日本の衣食住	世界の衣食住について、地域的差異があることに気づくとともに、世界的に画一化が進む現状を考察する。また、日本の衣食住の特徴やその変化を考察する。	○世界の衣食住について、地域的差異が生じていることに対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	8
1月	3章 現代世界と日本 1節 日本が抱える地理的な諸課題 2節 日本が抱える課題の追究 1 テーマを設定する 2 課題を探究する 3 仮説を検証する 4 まとめと発表	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	○日本が抱える地理的な諸課題について、関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、とらえようとしている。	4
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 地理歴史 科目 日本史B 年間授業計画

教科：地理歴史 科目：日本史B 単位数：4単位

対象学年組：(第3学年A組～H組)

教科担当者：(A組、EH組、FG組：前田) (C組：田中)

使用教科書：(山川出版社 詳説日本史B)

使用教材：(第一学習社 最新日本史図表)

	指導内容	科目日本史Bの具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	文化の始まり 農耕社会の成立 古墳とヤマト政権	人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて弥生文化の形成を考察する。 ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	9～11
5月	飛鳥の朝廷 律令国家への道 平城京の時代 天平文化	ヤマト政権の権力争いや大陸文化の摂取に着目して、飛鳥時代を考察する。 律令に基づく国内統治体制について理解する。 律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。 天平文化における政治性と国際性、国家仏教の展開などに着目して、古代国家の展開を理解する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	10～11
6月	平安王朝の形成 摂関政治 国風文化 地方政治の展開と武士	平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。 藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察させる。 大陸文化の消化と未法思想を前提とした新しい貴族文化として国風文化が展開されたことを理解する。 律令制に基づく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	15
7月	院政と平氏の台頭	院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	7
8月	授業なし			
9月	鎌倉幕府の成立 鎌倉文化 室町幕府の成立 室町文化	鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。 南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化及び大陸文化と伝統文化のかかわりについて理解する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	8～10
10月	戦国大名の登場 織豊政権 桃山文化 幕藩体制の成立	応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。 織田信長の統一事業、豊臣秀吉の天下統一、秀吉の朝鮮侵略と続く織豊政権の特色と意義、その後の時代への影響について考察する。 新興の大名や都市の豪商の精神を反映した桃山文化について、町衆の生活にも着目し、時代的背景を踏まえて考察する。 江戸幕府の成立による幕藩体制の確立過程を考察する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	13～14
11月	幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化	幕藩体制の確立期の経済・社会を兵農分離や村落・都市支配などの観点から、多面的・多角的に考察する。 17世紀後半から18世紀前半までの江戸幕府の安定期について、その平和と秩序の確立の視点で考察する。 幕藩体制の安定期の農業・商業などの発展について、諸産業相互の関係やその社会的役割を踏まえて考察する。 経済の発展と関連して町人文化が形成された事について、町人の社会的台頭や幕藩体制の安定と関連させて理解する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	16
12月	幕政の改革	農村や都市の変容により幕藩体制が動揺する中、幕府や諸藩が行った諸改革の意義とその影響を考察する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	7～8
1月	幕府の衰退と近代化の道 化政文化 近現代史概観	欧米諸国のアジア進出による国際情勢の変化やそれに対する幕府の対処を踏まえて幕府が衰退していく過程を考察する。 化政文化について、学問・思想・教育・文学・美術・生活文化の新たな展開に着目し、江戸と地方の文化的交流にも留意して考察する。 近現代史の流れを概観する。	基礎的知識の習得 歴史的思考力 調査・発問・小テストなどにより指導目標の達成度を測る。	2～3
2月	授業なし			
3月	授業なし			

桜町高等学校 令和4年度 教科:理科 科目:自選化学 年間授業計画

教科:理科 科目:自由選択化学 単位数:4単位

対象学年組:(第3学年E組)

教科担当者:(E組:菅野)

使用教科書:(化学 実教出版)

使用教材:(アクセスノート 化学 実教出版)

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	物質の状態と平衡 気体の性質 ボイルシャルルの法則 気体の状態方程式	物質の構造と融点・沸点とエネルギーの関係について理解させる。また蒸気圧や状態間の平衡についても理解させる。ボイルの法則・シャルルの法則・ボイルシャルルの法則を理解させ、計算が溶けるように演習問題を実施する。気体の状態方程式・ドルトンの分圧の法則さらに理想気体と実在気体の理論を理解	授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	8
5月	気体の性質 固体の構造 溶液 希薄溶液の性質 中間調査	蒸気圧についての理論を理解させる。 結晶構造の種類・結晶格子・アモルファスの構造について理解させる。 溶解の仕組み・溶解度曲線・溶解度の計算問題・再結晶等について理解させる。 ヘンリーの法則による気体の溶解度について理解させる。 中間調査と答案指導。	授業プリントの提出・アクセスノートの提出。中間調査	10
6月	溶液の性質 コロイド溶液 物質の変化と平衡 化学反応とエネルギー 熱エネルギー 結合エネルギー	ラウールの法則による沸点上昇と凝固点降下の理論と計算方法を演習を実施して理解させる。ファントホッフの法則による浸透圧と分子量の求め方を演習問題を実施して理解させる。 コロイド粒子の種類・ゾルとゲル・電気泳動・チンダル現象・ブラウン運動・透析・凝析・塩析等のコロイド溶液に関する性質について理解させる。 エネルギーの変換・反応熱・熱化学方程式・反応熱について理解させる。ヘスの法則について学ばせ反応経路と反応熱の関係、ヘスの応用・生成熱と反応熱の求め方を理解させる。さらに結合エネルギーと反応熱の関係を理解させる。	授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	16
7月	期末調査 物質の変化と平衡 化学反応とエネルギー 光エネルギー	期末調査と答案指導 化学反応と光エネルギー:光とエネルギーの関係・光化学反応・光合成・化学発光について理解させる。	期末調査・授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	4
8月	夏季休業			
9月	化学反応と電気エネルギー 電池の仕組み 電気分解 反応の速さとしくみ 反応速度	ボルタ電池・ダニエル電池・実用電池・マンガン乾電池・アルカリ乾電池・鉛蓄電池・燃料電池・リチウム電池の原理について理解させる。電気分解の反応とファラデーの法則による電気分解と生成物の量的関係について理解させる。さらに金属の精錬方法についても理解をふかませる。反応の速さについて反応速度を用いて反応の速さの違いを理解させる。また、反応測度を変える諸条件について理解させ、反応速度式と反応速度定数の求め方を演習を実施して理解させる。	授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	10
10月	反応のしくみ 化学平衡 可逆反応と化学平衡 化学平衡の移動 化学平衡と化学工業 中間調査	反応速度と触媒の影響・活性化エネルギーとその要因について理解させる。可逆反応・化学平衡の法則を理解させる。化学平衡の移動とその原理についてルシャトリエの原理から平衡移動の条件を理解させる。化学平衡と化学工業:ハーバーボッシュ法によるアンモニア合成について学ばせる。	授業プリントの提出・アクセスノートの提出・中間調査。	10
11月	電解質溶液の平衡 無機物質 周期表 非金属元素 水素と希ガス	電離度と電離平衡の関係・弱酸の電離平衡・弱塩基の電離平衡について理解させる。水の電離・水のイオン積・水素イオン濃度とPH・電離定数とPHの関係を理解させる。塩の加水分解と平衡移動・酸塩基と塩の反応・緩衝溶液とPHの関係を理解させる。難溶性の塩の溶解度と溶解度積の関係を理解させる。周期表・水素・希ガスの性質について理解させる。	授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	12
12月	期末調査 無機物質・非金属元素 ハロゲンとその化合物 酸素と硫黄とその化合物 窒素・リン・炭素・ケイ素	期末調査と答案指導 ハロゲン化合物・酸素と硫黄化合物についてその性質を理解させる。 窒素・リンとその化合物の性質に関して理解させる。 炭素・ケイ素とその化合物の性質を理解させる。	期末調査・授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	10
1月	金属元素 アルカリ金属元素 アルカリ土類金属元素 1、2属以外の典型元素	アルカリ金属元素とその化合物の性質を理解させる。アルカリ土類金属元素とその化合物の性質について理解させる。1、2属以外の典型元素とその化合物の性質を理解させる。	授業プリントの提出・アクセスノートの提出。	4
2月	授業無し			
3月	授業無し			

桜町高等学校 令和4年度 理科 物理(3年自選) 年間授業計画

教科：理科 科目：物理(電磁気) 単位数：4単位

対象学年組：第3学年E、F組

教科担当者：(E組：渡邊) (F組：渡邊)

使用教科書：(物理 新訂版 [実教出版])

使用教材：(セミナー物理基礎+物理 [数研出版])

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	電場と電位	電場というものの詳しい定義を学び、電荷が作る電場や電気力線について理解する。コンデンサーについてその原理と特性について学ぶ。	小テスト ワークシート	4
5月	直流回路・半導体	電池の起電力、内部抵抗について理解する。キルヒホッフの法則について学び、いろいろな応用問題について解答できるようにする。	質問 ワークシート	4
	直流回路・半導体	直流回路における抵抗の大きさの測定、コンデンサーの電気容量の測定、電池の起電力の測定、非直線抵抗のある回路の電圧の測定の方法を理解する。	質問 ワークシート	4
6月	電流と磁場	電流と磁場との間に働く力の関係や、磁場を表す磁力線について学ぶ。磁場において電荷が受ける力をローレンツ力といい、その力の大きさと向きを表す要素を理解する。	質問 ワークシート	4
	電気エネルギー	電気もエネルギーであり、仕事をすることができる。その仕事量を表す電力や電力量といった物理量を理解する。	質問 ワークシート	4
10	磁場	磁場とはどのようなものか、詳しい定義を学ぶ。	質問 ワークシート	4
	電流と磁場 期末考査	電流により発生する磁場の大きさを計算できる。	質問 ワークシート	4
7月				

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	電磁誘導と交流	電磁誘導による電気と磁場との結びつきを理解し、レンツの法則による計算ができるようにする。渦電流、相互誘導、自己誘導により交流回路におけるコイルのリアクタンスを学ぶ。	質問 ワークシート	4
	交流・電磁波	交流の発生、交流の利用について学ぶ。交流が電磁波に発生に関係していること、電磁波の種類と性質を学ぶ。	質問 ワークシート	4
10月	原子	原子の構造について理解を深め、電子の性質と電流の関係や、比電荷、陰極線について学ぶ。	質問 ワークシート	4
	光の粒子性と粒子の波動性	光電効果による光の粒子性の説明とそのための光子仮説について理解する。 物質波(ドブロイ波)による電子の波動性を学ぶ。	質問 ワークシート	4
11月	原子と原子核 原子の構造	原子模型の変遷、水素原子のエネルギー準位の説明	質問 ワークシート	4
	原子核と放射線	原子核の構造と放射線の種類と特徴 放射線崩壊による半減期を学び、半減期が計算できるようにする。	質問 ワークシート	4
12月	核反応とエネルギー	核分裂や核融合における反応の仕組みを知り、質量がエネルギーに変わるとい う現象を知り、質量とエネルギーとの換算ができるようにする。	質問 ワークシート	4
	光の回折と干渉	光も波であるため回折と干渉を起こすということを知り、それぞれの現象において波の 回折、干渉の原理が共通に当てはまることを知る。	質問 ワークシート	4
1月	素粒子と宇宙	素粒子の種類と素粒子の分類について知る。 宇宙の誕生から今に至るまでにかかわる素粒子について学ぶ。	質問 ワークシート	4
	学年末考査			

都立桜町高等学校・全日制 令和3年度 必修選択 化学 年間授業計画

教科：(理科) 科目：(必修選択化学) 単位数：(4単位)

対象学年組：(第3学年E組)

教科担当者：(平林)

使用教科書：(化学 実教出版)

使用教材：(アクセスノート 実教出版)

	指導内容	科目化学の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	4章 有機化合物 1節 有機化合物の特徴と分類 2節 脂肪族炭化水素 1飽和炭化水素	有機化合物の歴史、無機化合物との違いを理解させ、有機化合物の最も基礎となる炭化水素の分類について理解させる。 アルカン(メタン系炭化水素)の名称と、異性体への国際名による命名法について理解させる。炭化水素の基礎であるアルカン名は、1から10まで覚えさせる。アルカンの性質並びに用途についても理解させる。	授業プリント提出 小テスト等	10
5月	2節 脂肪族炭化水素 2不飽和炭化水素 3脂乾式炭化水素 3節 酸素を含む脂肪族炭化水素 1アルコールとエーテル	アルケン(エチレン系)炭化水素の命名法と性質、用途について理解させる。アルキン(アセチレン系炭化水素)についても同様にその命名法、性質、用途について理解させる。脂環式炭化水素シクロアルカン並びにシクロアルケンの命名法、性質について理解させる。炭化水素命名法に関するまとめ。IUPACによる国際名についての歴史とその方法をまとめそれを理解して脂肪族炭化水素の構造から名前がつけられるようにする。酸素を含む炭化水素を体系的に提示し、説明する。酸素1つを持つアルコールとその構造異性体であるエーテルについて命名法、性質、用途について理解させる。	授業プリント提出 実験レポート 小テスト等 中間考査	9
6月	3節 酸素を含む脂肪族炭化水素 2アルデヒドとケトン 3カルボン酸とエステル 4節 芳香族化合物 2酸素を含む芳香族化合物	カルボニル化合物から、アルデヒド・ケトンについて命名法、性質、用途について説明し、特にアルデヒドの還元性の性質が重要であることを理解させる。カルボン酸について命名法、性質、用途について理解させる。酸素をもつ所謂オキシ化合物の国際名による命名法のまとめを実施し、オキシ化合物の命名が容易に出来るようにさせる。エステルと油脂についてその性質と用途について理解させる。ベンゼンの構造と性質、ベンゼン環を持つ誘導体芳香族化合物の種類とその性質について理解させる。フェノール類についてその種類、性質、用途について理解させる。また、フェノールは、酸としての性質とアルコールとしての性質を持つことを理解させるため両者を比較して理解させる。さらに-OHが付く化合物には塩基もあり、この違いも説明する。	授業プリント提出 小テスト等	14
7月	4節 芳香族化合物 2酸素を含む芳香族化合物 3窒素を含む芳香族化合物	芳香族カルボン酸(安息香酸・フタル酸・テレフタル酸・サリチル酸)その性質用途について理解させる。また、弱酸の遊離現象についても理解させる。ニトロ化合物のニトロベンゼンの性質、用途について理解させる。	授業プリント提出 小テスト等 期末テスト	5
8月	夏季休業			
9月	4節 芳香族化合物 構造式の決定 5節 有機化合物と人間生活 1エネルギーの利用 2洗剤 3染料と染色 4医薬品 5有機化合物と生体	アニリンをはじめとした芳香族アミンの性質と用途について理解させる。また、アゾ化合物についてジアゾ化、カップリング反応についてそのメカニズムについて理解させる。芳香族化合物のベンゼン誘導体の系統的藩王物系統図を理解させ、ベンゼンに何が置換するとどんな芳香族化合物になるかが分かるようにさせる。芳香族化合物の混合物を分離検出させる方法を理解させる。有機化合物の燃焼による元素分析方から構造式の決定方法を理解させる。また、有機化合物の特有な反応例からどんな種類の化合物かを導く方法も理解させ、演習を通して構造式がかけられるようにさせる。燃料、食品、医薬品や、洗剤、染料などに有機化合物が利用されていることを理解させる。また、どんな特徴を生かして利用されているのか理解させる。	授業プリント提出 実験レポート 小テスト等	10
10月	5章 高分子化合物 1節 高分子化合物 高分子化合物の分類と特徴 2節 天然高分子化合物 1糖類 2タンパク質	高分子化合物について、無機と有機並びに天然高分子化合物と合成高分子化合物の分類と、性質や用途について理解させる。天然高分子化合物である糖類の分類法、単糖類・二糖類・多糖類の種類と性質、用途について理解させる。また、多糖類のセルロースについては、レーヨン等の身近な繊維についても紹介し理解させる。タンパク質については、単量体であるアミノ酸の種類とその性質さらには、その高分子化合物であるタンパク質の構成について理解させる。	授業プリント提出 小テスト等 中間考査	13
11月	2タンパク質 3核酸 3節 合成高分子化合物 1合成高分子化合物の分類 2合成繊維 3合成樹脂(プラスチック)	アミノ酸の種類とその性質さらには、その高分子化合物であるタンパク質の構成について理解させる。核酸は、生物分野でもあるDNAとRNAの違いや性質について理解させる。石油化学製品である合成高分子化合物について重合の種類や製品である合成繊維やプラスチックの種類その用途について理解させる。熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の違いについても理解させる。	授業プリント提出 小テスト等	14
12月	4機能的な高分子化合物 5合成ゴム 4節 高分子化合物と人間生活 1繊維 2機能的な高分子 3資源の再利用 共通テスト演習	機能的な高分子化合物であるイオン交換樹脂の反応性質を理解させるとともに導電性高分子や吸水性高分子・生分解性高分子についても理解させる。天然ゴムと合成ゴムについてその製法と性質、用途について理解させる。また、高分子化合物が日常生活でどのように利用されているのかを理解させる。化学の共通テストの過去問題を解かせ、得点率向上を目指す。	授業プリント提出 小テスト等 期末テスト	9
1月	共通テスト演習	化学の共通テストの過去問題を解かせ、得点率向上を目指す。	授業プリント提出 小テスト等	4
2月				
3月				

桜町高等学校 令和4年度(2022) 理科・生物 年間授業計画

教科：理科 科目：生物 単位数：4単位

対象学年組：第3学年(必修選択)

教科担当者：辰田 康代

使用教科書：(改訂版 生物 数研出版)

使用教材：(三訂版 リードLightノート生物 数研出版)

	指導内容	科目・生物の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	I 生命現象と物質 1. 細胞と分子	(1) 生体を構成する分子 (2) タンパク質の構造と性質 (3) 酵素の働き (4) 細胞の構造 (5) 物質輸送とタンパク質 (6) 情報伝達・認識とタンパク質	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	16
5月	2. 代謝 3. 遺伝情報の発現	(1) 代謝とエネルギー (2) 呼吸と発酵 (3) 光合成 (4) 窒素同化 (1) DNAの構造と複製 (2) 遺伝情報の発現	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	18
6月	II 生殖と発生 4. 生殖と発生	(3) 遺伝子の発現調節 (4) バイオテクノロジー (1) 遺伝子と染色体 (2) 減数分裂と遺伝情報の分配 (3) 遺伝子の多様な組み合わせ (4) 動物の配偶子形成と受精	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	20
7月		(5) 初期発生の過程 (6) 細胞の分化と形態形成 (7) 植物の配偶子形成と発生	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	12
8月				
9月	III 生物の環境応答 5. 動物の反応と応答 6. 植物の環境応答	(1) ニューロンとその興奮 (2) 刺激の受容 (3) 情報の統合 (4) 刺激への反応 (5) 動物の行動 (1) 植物の生活と環境応答	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	20
10月		(2) 発芽の調節 (3) 成長の調節 (4) 環境の変化に対する応答 (5) 花芽形成・結実の調節	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	20
11月	IV 生態と環境 7. 生物群集と生態系	(1) 個体群 (2) 個体群内の個体間の関係 (3) 異種個体群間の関係 (4) 生物群集 (5) 生態系における物質生産 (6) 生態系と生物多様性	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	20
12月	V 生物の進化と系統 8. 生物の起源と進化 9. 生物の系統	(1) 生命の起源と初期の生物の変遷 (2) 多細胞生物の変遷 (3) 進化の仕組み (1) 生物の系統 (2) 生物の多様性	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート (実験観察等)	16
1月	特別時間割 共通テスト対策・生物	(1) 生物基礎・共通テスト対策演習 (2) 生物・共通テスト対策演習	・小テスト ・ワークシート	12
2月				
3月				

桜町高等学校 令和4年度 理科 物理(3年必選) 年間授業計画

教科：理科 科目：必選物理 単位数：4単位

対象学年組：第3学年EF組

教科担当者：(EF組：上野)

使用教科書：(物理 新訂版 [実教出版])

使用教材：(セミナー物理基礎+物理 [第一学習社])

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	II 運動とエネルギー 1 平面運動と剛体のつりあい (1) 平面運動 変位と速度 速度の合成・分解 (2) 放物運動 水平投射・斜方投射 空気抵抗のある運動 (3) 剛体にはたらく力 力のモーメント	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の変位と速度が計算できる。 ・平面上の速度の合成・分解、相対速度、加速度が計算できる。 ・水平投射と斜方投射が計算できる。 ・空気抵抗がある運動が計算できる。 ・力のモーメントが計算できる。 ・剛体のつりあいが計算できる。 ・剛体にはたらく2力が合成できる。 ・重心を計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の各量が計算できるか。 ・放物運動が計算できるか。 ・空気抵抗がある運動が計算できるか。 ・力のモーメント、剛体のつりあい、2力の合成が計算できるか。 ・重心を計算できるか。 	12
5月	中間考査 2 運動量の保存 (1) 運動量と力積 運動量と力積 (2) 運動量保存の法則 運動量保存の法則 (3) 反発係数 衝突	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積が計算できる。 ・運動量と力積の関係が計算できる。 ・直線上の運動量の保存が計算できる。 ・平面上の運動量の保存が計算できる。 ・床との衝突が計算できる。 ・2球の衝突が計算できる。 ・斜め衝突が計算できる。 ・衝突と力学的エネルギーの関係が計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・運動量と力積の関係を計算できるか。 ・運動量の保存を計算できるか。 ・衝突における反発係数を用いた計算ができるか。 	8
6月	III 波動 1 波の性質 (1) 波の表し方 正弦波の式 (2) 波の重ね合わせ 波の重ね合わせ	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦波を式で表し、正弦波の各量が計算できる。 ・波を重ね合わせることができる。 ・定常波のできかたを説明できる。 ・波の反射と位相の関係を説明できるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・正弦波の式から各量を計算できるか。 ・波を重ね合わせられるか。 ・定常波の発生を説明できるか。 ・波の反射波が作図できるか。 	6
7月	II 運動とエネルギー 1 平面運動と剛体のつりあい (1) 平面運動 変位と速度 速度の合成・分解 (2) 放物運動 水平投射・斜方投射 空気抵抗のある運動 (6) 剛体にはたらく力 力のモーメント	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の変位と速度が計算できる。 ・平面上の速度の合成・分解、相対速度、加速度が計算できる。 ・水平投射と斜方投射が計算できる。 ・空気抵抗がある運動が計算できる。 ・力のモーメントが計算できる。 ・剛体のつりあいが計算できる。 ・剛体にはたらく5力が合成できる。 ・重心を計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・平面上の各量が計算できるか。 ・放物運動が計算できるか。 ・空気抵抗がある運動が計算できるか。 ・力のモーメント、剛体のつりあい、5力の合成が計算できるか。 ・重心を計算できるか。 	15
8月	(3) ホイヘンスの原理 干渉・反射・屈折・回折 中間考査 2 音波 (1) 音の伝わり方 音の三要素 音波の性質	<ul style="list-style-type: none"> ・ホイヘンスの原理から平面波や球面波の伝わり方が説明できる。 ・ホイヘンスの原理から波の反射・屈折・回折を説明できる。 ・波の干渉条件を説明できる。 ・音の三要素が言える。 ・音の反射、干渉、屈折、回折を説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホイヘンスの原理から平面波や球面波、屈折、回折を作図できるか。 ・波の干渉条件が言えるか。 ・音の三要素が言えるか。 ・音の反射、干渉、屈折、回折を説明できるか。 	9

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
9月	うなり (2) 物体の振動 弦の振動 気中共鳴 (3) ドップラー効果 ドップラー効果	<ul style="list-style-type: none"> ・うなりを計算できる。 ・弦の振動を計算できる。 ・気中共鳴を計算できる。 ・ドップラー効果を計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・うなりを計算できるか。 ・弦の振動を計算できるか。 ・気中共鳴を計算できるか。 ・ドップラー効果を計算できるか。 	12
10月	3 光波 (1) 光の性質 光の速さ 光の反射・屈折 全反射 光の分散・散乱・偏光	<ul style="list-style-type: none"> ・フイブーの実験を計算できる。 ・光波の反射と屈折が計算できる。 ・臨界角を計算できる。 ・光のスペクトルを説明できる。 ・大気による光の散乱が説明できる。 ・偏光が説明できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・光の速さを計算できるか。 ・反射と屈折が計算できるか。 ・臨界角を計算できるか。 ・スペクトルを説明できるか。 ・光の散乱が説明できるか。 ・偏光が説明できるか。 	6
11月	中間考査 (2) レンズと鏡 凸レンズによる像 凹レンズによる像 (3) 光の回折と干渉 ヤングの実験 回折格子 薄膜による干渉 空気層による干渉	<ul style="list-style-type: none"> ・凸レンズによる実像と虚像が計算できる。 ・凹レンズによる虚像が計算できる。 ・ヤングの実験を計算できる。 ・回折格子を計算できる。 ・薄膜の干渉を計算できる。 ・くさび形空気層の干渉が計算できる。 ・ニュートンリングを計算できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・凸レンズが計算できるか。 ・凹レンズが計算できるか。 ・ヤングの実験が計算できるか。 ・回折格子を計算できるか。 ・薄膜の干渉を計算できるか。 ・空気層による干渉が計算できるか。 	9
12月	期末考査 物理学が拓く世界	<ul style="list-style-type: none"> ・映画を鑑賞する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物理学に興味を持てたか。 	3

東京都立桜町高等学校 令和4年度 体育 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第3学年男子 A組~H組) 単位数:3単位

教科担当者:(A~H組 浅原 荒川 久保 慶徳 高山 谷口)

使用教科書:現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)

使用教材:現代保健ノート(大修館書店) アクティブスポーツ2021

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	球技:サッカー	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	9
	球技:バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技:テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
5月	球技:サッカー	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
	球技:バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技:テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
6月	球技:バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	14
	球技:ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	スポーツテスト	スポーツテスト全種目	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技:水泳	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
7月	球技:バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	球技:ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技:水泳	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
9月	球技：バレーボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	8
	球技：ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
10月	球技：バレーボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	9
	球技：ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
11月	球技：サッカー	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	9
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	体育理論	運動・スポーツの文化的特徴について理解する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ワーク	3
12月	球技：サッカー	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	4
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	体育理論	運動・スポーツの学び方について理解する	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・知識・理解 授業態度、ワーク	3
1月	球技：サッカー	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	6
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・関心・意欲・態度 ・思考・判断 ・技能・表現 ・知識・理解 実技	
2月				
3月				

東京都立桜町高等学校 令和4年度 体育 年間授業計画

教科:(保健体育)科目:(体育) 対象:(第3学年女子 A組~H組) 単位数:3単位

教科担当者:(A~H組 浅原 荒川 久保 慶徳 高山 谷口)

使用教科書:現代高等保健体育 改訂版(大修館書店)

使用教材:現代保健ノート(大修館書店) アクティブスポーツ2021

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
4月	球技：バレーボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	9
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
5月	球技：バレーボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	6
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
6月	球技：バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	14
	球技：ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	スポーツテスト	スポーツテスト全種目	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：水泳	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
7月	球技：バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	4
	球技：ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：水泳	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心、意欲、態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
8月				

	指導内容 【年間授業計画】	体育の具体的な指導目標 【年間授業計画】	評価の観点 方法	予定時数
9月	球技：バレーボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	8
	球技：ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
10月	球技：バレーボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	9
	球技：ソフトボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：テニス	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
11月	球技：バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	9
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：フットサル	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	体育理論	運動・スポーツの文化的特徴について理解する	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 知識・理解 授業態度、ワーク	3
12月	球技：バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	4
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：フットサル	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	体育理論	運動・スポーツの学び方について理解する	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 知識・理解 授業態度、ワーク	3
1月	球技：バスケットボール	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	6
	球技：バドミントン	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
	球技：フットサル	種目選択制による授業 生徒主体による授業展開	・ 関心・意欲・態度 ・ 思考・判断 ・ 技能・表現 ・ 知識・理解 実技	
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科家庭科目子どもの発達と保育 年間授業計画

教科：家庭科 目：子どもの発達と保育 単位数：2単位

対象学年組：（第3学年A組～D組，F～H組）

教科担当者：（A組：高橋）（B組：高橋）（C組：高橋）（D組：高橋）（E組： ）（F組：高橋）（G組：高橋）（H組：高橋）

使用教科書：（実教出版 子どもの発達と保育 ）

使用教材：（ ）

	指導内容	科目子どもの発達と保育の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	オリエンテーション 子どもの発達の特性 発達と乳幼児の意義	<ul style="list-style-type: none"> 子どもが育つために必要な力を考え、学習するうえでの目的意識をもつ。 「子どもの発達と保育」の学習の意義や内容、ノートの書き方など学習の方法、評価の方法を理解する。 鯉のぼりなど、子どもの日に関するものを制作する。 	作品	4
5月	発達と保育環境 児童観と発達観 上級学校について知る	<ul style="list-style-type: none"> 人間の発達に関心を持ち、乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であり、大人による養護が欠かせないことを確認する。 子どもの育ちは、遺伝要因と環境要因に影響されることを知る。 子どもの発達に大きな影響を与える保育の環境や子どもへの接し方、保育環境の整え方について考える。 上級学校の出張授業を行い、保育士の方々の生の声を聞き、職業観を育てる。 		4
6月	子どもの発達の課程 子どもの発育 子どもの精神発達 人間関係の形成	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の身体の発育過程と生理的特徴を知る。 運動機能や感覚機能、知的能力、言語機能、情緒など様々な側面から、子どもの心の発達をとらえる。 子どもの発達を促す玩具の製作を行う。 		8
7月	保育実習 保育者の役割とは 指導のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 世田谷区立用賀保育園で保育実習を行う。 集団保育の意義と形態、保育内容を知る。 保育実習を通して、保育者に求められる役割と指導のポイントを知る。 子どもと触れ合い、子どもと適切にかかわる技能を身につける。 	試験 作品 提出物	2
8月				
9月	子どもの保育 保育の意義と重要性 家庭保育と集団保育	<ul style="list-style-type: none"> 保育の意味や、人間形成にどのようにかかわるかを考える。 子どもや家庭を取り巻く状況の変化を確認し、いま求められている保育がどのようなものかを考える。 		4
10月	子どもの生活 生活と養護 子どもの遊び	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児の生活リズムを把握し、子どもが心身の健康を保つためには養育者の働きかけや配慮が重要であることを理解する。 子どものおやつやお弁当を作る。 子どもの遊びの意義について考える。 		4
11月	生活習慣の形成 健康管理と事故防止	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児期に身につけるべき生活習慣と親の影響について考える。 子どもの健康状態を見るときのポイントや病気の特徴、予防接種について確認する。 子どもの事故の特徴を知り、対策を考える。 		8
12月	子どもの福祉 児童福祉の理念 児童福祉に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> 児童憲章を通して、子どもの幸せとは何かを考える。 子どもに関する法律や制度を知り、施策や施設の現状を把握する。 	試験 提出物	4
1月	児童虐待とその予防 これからの子育て支援	<ul style="list-style-type: none"> 児童虐待の現状と対策について考える。 子どもが健全に育つために必要な支援を考える。 		2
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 芸術 科目 音楽Ⅱ（3年） 年間授業計画

教科：芸術 科目：3年 音楽Ⅱ 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A～H組

教科担当者：（A～H組：池本 早織）

使用教科書：（ON! 2（音楽之友社））

使用教材：（ ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	歌唱	・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト	24
	器楽	・歌唱に必要な発声を身につける。		
5月	鑑賞	・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。		
	創作	・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱）		
6月	楽典	・譜読に必要な基本的音楽知識（音符、休符、拍子）について学ぶ。		
		・より詳細な楽典（音程、和声、調性等）について学ぶ。		
7月		・ギターの基礎（構え方、各部の名称、調弦方法、音階等）を学ぶ。		
8月		・音楽作品を鑑賞し、音楽の諸要素を感じ取り自らの意見とその根拠を分析し表現する。		
9月	歌唱	・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱）	【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心） 授業内で実施する歌唱・器楽の実技試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術） 【評価】 授業態度 筆記小テスト	30
	器楽	・譜読ができる。（楽譜をみて演奏できているか）		
	鑑賞	・自分の担当する内容を、よく練習し、演奏出来ているか。		
10月	創作	・合唱、アンサンブルの楽しさを味わう。		
	楽典	・グループによる演奏発表（アカペラバンド、楽器アンサンブル）		
11月		・ギターでメロディー奏、コード弾き語り、アンサンブルをする。		
12月		・サウンドスケープ、環境音楽について考える。		
		・「音楽」とは何か、考える。		
1月	歌唱 器楽 鑑賞 創作 楽典	・グループによる演奏発表（呼吸や姿勢を意識して表現しているか。） ・これまでの学習を通し学んだことをいかして演奏しようとしているか。 ・グループ活動において、仲間と協力して練習に取り組んでいるか。	【観点】 （興味・関心）（表現の技術） 【評価】 授業態度筆記小テスト	
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 芸術 科目 音楽表現（3年） 年間授業計画

教科：芸術 科目：3年音楽表現 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：（A組～H組：池本 早織）

使用教科書：（ON! 1（音楽之友社））

使用教材：（ ）

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・腹式呼吸の特徴をつかみ、歌うときの姿勢を身につける。 ・歌唱に必要な発声を身につける。 ・曲の理解を深めると共に、音楽の諸要素との関係に気をつけながら歌う。 ・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱） ・譜読に必要な基本的音楽知識（音符、休符、拍子）について学ぶ。 ・より詳細な楽典（音程、和声、調性等）について学ぶ。 ・ギターの基礎（構え方、各部の名称、調弦方法、音階等）を学ぶ。 ・音楽作品を鑑賞し、音楽の諸要素を感じ取り自らの意見とその根拠を分析し表現する。 	<p>【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心）</p> <p>授業内で実施する歌唱試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術）</p> <p>【評価】 授業態度 筆記小テスト 実技テスト</p>	24
5月	器楽			
6月	鑑賞			
7月	創作 楽典			
8月				
9月	歌唱	<ul style="list-style-type: none"> ・複数のパートに分かれて歌う。（三部合唱） ・譜読ができる。（楽譜をみて演奏できているか） ・自分の担当する内容を、よく練習し、演奏出来ているか。 ・合唱、アンサンブルの楽しさを味わう。 ・グループによる演奏発表（アカペラバンド、楽器アンサンブル） ・ギターでメロディー奏、コード弾き語り、アンサンブルをする。 ・サウンドスケープ、環境音楽について考える。 ・「音楽」とは何か、考える。 	<p>【観点】 授業における態度、音や音楽に対する興味・関心、音楽活動に対する意欲。（興味・関心）</p> <p>授業内で実施する歌唱・器楽の実技試験による音楽表現技能・能力の到達度や表現の工夫。（表現の技術）</p> <p>【評価】 授業態度 筆記小テスト</p>	30
10月	器楽			
11月	鑑賞			
12月	創作 楽典			
1月	歌唱 器楽 鑑賞 創作 楽典			
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 芸術 科目 3年 絵画表現 年間授業計画

教科：芸術 科目：造形芸術 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：水田 泉

使用教科書：(日本文教出版 高校生の美術1)

使用教材：

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数
4月	(1)オリエンテーション『現代アートとは何か』	(1)『オリエンテーション』現代アート作品について鑑賞し「見る・感じ取る・考える・表す」ことから、美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付ける。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	24
	(2)美術史『画家の生涯とその作品』	(2)『画家の生涯とその作品』鑑賞の能力を養い、感性や想像力を働かせて、造形的な美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深める。レポート提出あり。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
5月	(3)表現・絵画『花をテーマに』	(3)『花をテーマに』自由制作。日本、西洋、アジアをはじめとする国々で描かれてきた花の表現を鑑賞し、比較文化への理解と美術への関心を深める力を養う。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
6月	(4)表現・絵画『物語をテーマに』	(4)『物語をテーマに』自由制作。日本、西洋、アジアをはじめとする国々で描かれてきた空想表現について学習する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
7月	(5)『鑑賞会』	(5)作品の鑑賞を通じて、作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合う。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
8月				
9月	(6)『ポートフォリオ制作 デッサン・デザイン編』	(6)『ポートフォリオ制作』 静物・石膏デッサン・平面構成・ポスターから自由課題を選びポートフォリオを作成する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	30
10月	(7)『ポートフォリオ制作 私をテーマに』	(7)『ポートフォリオ制作』 私をテーマに アクリル・版画・油彩・日本画から自由課題を選びポートフォリオを作成する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
11月	(8)-1『卒業制作』	(8)-1『学校をテーマに』 校内に展示する卒業作品を各自アイデアを絞り、自由制作する。個々の発想や努力の広がりにより十分の評価を与え、アイデア・描写力・構図力など総合的に工夫する意欲を養う。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
12月	(8)-2『卒業制作』	(8)-2『学校をテーマに』 制作した卒業作品を公募展で展示し、返却された作品を各自校内に展示する。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	
1月	(9)『卒業制作 作品 発表会』	(9)卒業制作の作品発表ならびに鑑賞会を通じて、美術全般への理解や見方、関心を深める力を養う。	提出物 授業態度 自己評価 出席日数	16
2月				
3月				

都立桜町高等学校 令和4年度 教科芸術 科目 3年 アニメーション表現 年間授業計画

教科：芸術 科目：3年 アニメーション表現 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：水田 泉

使用教科書：(日本文教出版 高校生美術1)

使用教材：

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4月	(1)オリエンテーション『映像メディアの可能性』	(1)『映像メディアの可能性』と題し、さまざまなメディアの作品を鑑賞する。鑑賞を通じて、その目的と創造活動への関心を高め、個人が主体性をもって学習への取り組みを心がける。レポート提出あり。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数	24	
	(2)CGデザイン『りんごを描く』	(2)『りんごを描く』フォト・ショップを使用し、モデリングの感覚を養うことで感性や想像力を働かせる。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
5月	(3)CGデザイン『自画像を用いたハイコン表現』	(3)『自画像を用いたハイコン表現』自画像をモチーフにしたハイコン画の作品鑑賞を通じて、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫への理解や見方を深めるとともに、レタッチの多様性について学習する。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
	(4)CGデザイン『コラージュ・フォトモンタージュ』	(4)『コラージュ・フォトモンタージュ』シュル・レアリスムの作品を鑑賞し、コラージュ・フォト・ショップについて学習する。また、複数の写真を用い、空想画を制作し、構成力や発想の力を高める。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
6月	(5)CGデザイン『ロゴデザイン』	(5)『ロゴデザイン』 イラストレーターを使用し、自由な発想でロゴのデザインを行う。デザイン・構成力と発想の力を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
	(6)CGデザイン『オリジナルキャラクターデザイン』	(6)『オリジナルキャラクターデザイン』フォトショップ・イラストレーターを使用し、オリジナルプロダクト作品を制作し、デザイン・構成力と発想の力を育む。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
7月	(7)『鑑賞会』	(7)作品の鑑賞を通じて、作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
8月					
9月	(8)映像メディア『アニメーション・GIFの概念』	(8)『GIFの概念』手描き特有のアニメの特性を理解し、音楽とアイキャッチが入った、動画を作成する。CGのソフトを理解し、新たな表現方法を工夫し、創意意欲を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		30
	(9)映像メディア『桜町高校PRキャラクター制作』	(9)『桜町高校PRキャラクター』CGで制作し、アイキャッチを制作する。メディアの特性を生かし、新たな表現方法を工夫し、創意工夫する意欲を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
10月	(10)映像メディア『クレイアニメ制作』	(10)『クレイアニメ』モデリング用の粘土を使用し、1分間のアニメーションを制作する。発想する力、アイデアを育む。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
11月	(11)映像メディア『アイキャッチ制作』	(11)『アイキャッチ制作』短編映像の加工からメディアの特性を生かし、新たな表現方法を工夫し、創意意欲を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
12月	(12)『卒業制作』	(12)『卒業制作』今まで学習したアニメーションの手法をすべて使用し、卒業制作を行う。個々の発想や努力の広がりにより十分な評価を与え、アイデア・描写力・構成力など総合的に工夫する意欲を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
1月	(13)『卒業制作 作品 発表会』	(13)『卒業制作発表』鑑賞を通じて、美術全般への理解や見方、関心を深める力を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数	16	
2月					
3月					

都立桜町高等学校 令和4年度 教科 芸術 科目 3年 プロダクト・デザイン 年間授業計画

教科：芸術 科目：3年 プロダクト・デザイン 単位数：2単位

対象学年組：第3学年A組～H組

教科担当者：水田 泉

使用教科書：(日文 高校生美術1)

使用教材：

	指導内容	科目〇〇の具体的な指導目標	評価の観点・方法	配当 時数	
4月	(1)オリエンテーション『現代プロダクト・デザインの世界』	(1)『現代プロダクト・デザインの世界』鑑賞を通じて、美術の創造活動の喜びを味わい、表現や鑑賞の能力を身に付け、主体的な制作への取り組み方について学習する。レポート提出あり。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数	24	
	(2)アイデアをかたちに『手びねり』	(2)参考例を鑑賞し、造形制作の基礎となる『手びねり』の技法について学び、作品を制作する。また、生活を豊かにするデザインや発想を練る力を深める。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
5月	(3)アイデアをかたちに『たたらづくり』	(3)参考例を鑑賞し、図面の基礎を理解し、『たたら板』を使用し、オリジナルの作品を制作する。自由に発想し、また、デザインする力を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
	(4)アイデアをかたちに『ろくろづくり』	(4)参考例を鑑賞し、『ろくろづくり』を使用し、生活を快適にする楽しいオリジナルカップを制作する。身近な生き物をモチーフとすることで、楽しい発想と造形感覚を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
6月	(5)『プロダクト作品自由制作』	(5)『自由制作』3つの技法をふまえ、素材の特性を理解し、生活を快適にする楽しいプロダクト作品の制作する。身近な生き物をモチーフとすることで、楽しい発想と造形感覚を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
7月	(6)『鑑賞会』	(6)作品の鑑賞を通じて、作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
8月					
9月	(7)デザインと装飾『ガラス絵』	(7)『金工』参考例を鑑賞し、ガラスと金属の特性を生かし、デザインする発想力を養う。金属加工の基礎として銅板を加工し、色ガラス粉を施釉し、七宝焼きの技法について学ぶ。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		30
10月	(8)デザインと装飾『シルバー粘土』制作	(8)『シルバー』参考例を鑑賞し、金工の基礎である、ろう付けの技法を学び、シルバー板を加工する。また、鑑賞を通じて、自由にデザインや発想する力を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
11月	(9)暮らしとデザイン『木工』制作	(9)『木工』参考例を鑑賞し、1枚の板を加工し、くぎなどを使用せず、日本の伝統技法であるほぞ組みを使用したテーブルを制作する。平面から立体物を構想し、発想を練る力を深める。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
12月	(10)『卒業制作』	(10)『クラフトデザイン自由制作』参考例を手掛かりに、明かりをテーマにさまざまなリサイクル素材を使用し自由制作を行う。個々の発想や努力の広がりには十分の評価を与え、アイデア・描写力・構成力など総合的に工夫する意欲を養う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数		
1月	(11)『鑑賞会』	(11)作品の鑑賞を通じて、作品の中から創意工夫されたアイデアについて話し合う。	提出物/授業態度 自己評価/出席日数	16	
2月					
3月					